

【令和 7 年 3 月 2 1 日策定】

【山形県 山形市】

校務 D X 計画

文科省「GIGAスクール構想の下での校務 D X 化チェックリスト」に示されているように、1 人 1 台端末は学校や家庭で日常的に活用され、児童生徒の自立的な学びに役立っている。

また、市立小中学校では、統合型校務支援システム（クラウド）の導入により、ペーパーレス化や情報の共有化が進んでいる。

教育委員会では、ハイブリッド型研修会やオンデマンド配信、アンケートシステムの導入により、時間や場所に縛られない研修が実施されているが、学校現場からはより快適なネットワーク環境の構築や業務改善が求められている。

これらを踏まえ、次に掲げる取り組みを重点とし、校務 D X を推進していく。

1 統合型校務支援システムの充実

令和 5 年度に、すべての市立小中学校に統合型校務支援システムを導入し、成績や在籍、出席や保健等の校務系データ、連絡事項や各種資料をクラウド上で一元管理・蓄積・共有することで、校務の効率化を図ってきた。

令和 7 年度は、校務支援システムと連携するソフトウェア「心の天気」「保護者連絡」「自動採点」を本格運用し、更なる児童生徒の理解や、業務の効率化による児童生徒と向き合う時間の創出、質の高い教育の提供につなげていく。また、校務支援システムと各ソフトウェアが連携することでダッシュボード（集積データ一覧表示）が機能し、児童生徒一人一人の各データを収集・分析・可視化できるようになる。出席状況や心の健康状態と成績情報等を関連させながら個々の成果や課題等に対して、より適切な対応につなげていけるようにする。

2 デジタル化による業務の効率化

これまで紙で行っていた業務をデジタル化し、効率化とペーパーレス化を推進する。具体的には、すべての市立小中学校に「保護者連絡」ソフトを導入し、保護者への連絡やお便り配信をデジタル化する。「心の天気」ソフトを活用し、児童生徒のタブレット端末でお知らせ文書等が閲覧できるようにする。市主催の教職員研修の振り返りを「アンケートシステム」を使って実施するなどである。

3 セキュリティポリシーの改訂

平成 2 1 年 4 月、市教育委員会にて「学校情報セキュリティポリシーガイドライン 基本方針」を策定した。社会の状況やネットワーク環境の更新、教育的ニーズに対応し、平成 2 6 年と令和 3 年に一部改訂している。GIGAスクール構想後、教育の情報化が加速し、現行のセキュリティポリシーが学校現場の状況に合致しない項目も出てきており、今後の安心安全で円滑な運用を考慮し、内容の改訂を検討していく。